

小学校 中 学年＜ 4－（ 5 ）＞

学 年	4年	時 間	学級活動（帰りの会等の短学活を活用） 「ピカッ、ゴロゴロときたら急いでひ難！」	時 期	7月 または適時	時 数	15分～20分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活の中で落雷の危険があったときの安全な避難の仕方について知る。</li> <li>周囲の状況と気象の変化に注意し、落雷の危険を回避して安全に行動することができるようにする。</li> </ul>						
資料・準備	スライド(文科省防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3) 高学年・落雷「ピカッ、ゴロゴロときたら急いでひ難！」)、ワークシート（文科省CD-ROM内）						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 雷による災害について学習することを知る。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド1を提示</b></p> <p>◇雷のこわさを知っていますか。</p>	<p>○これまで経験した雷について話し合わせ、落雷が災害（物や建物が壊れたり、火事になったり、人が亡くなることもある）につながることを説明する。</p>
展 開	<p>2 落雷によってどんな危険があるか、どのように身を守ればよいか考える。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド2を提示</b></p> <p>◇雷が鳴っているとき、まちの中や家の中ではどんなところが危ないでしょうか。グループで話し合ってみましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド3を提示</b></p> <p>◇雷が鳴っているとき、身を守るために自分だったらどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用もないのに外に出ない。</li> <li>一緒にいる大人の指示に従う</li> <li>建物の中に避難する</li> <li>電化製品に触らないようにする</li> </ul> <p>◇雷の被害から身を守るために、ふだんから注意できることはどんなことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天気に関する情報を注意深く聞く</li> <li>天候に注意し、用もないのに外に出ない</li> <li>安全な避難の方法を覚える</li> </ul>	<p>○ワークシートを配布し、各自自分の考えを記入した後、グループ（風水害の時と同じグループ）で話し合わせる。</p> <p>○状況や場所を具体的に示して想像させる。</p> <p>&lt;状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周囲に建物がないところにいる</li> <li>野外スポーツをしている</li> <li>大きな木の下で雨宿りをしている など</li> </ul> <p>&lt;場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の近くや通学路</li> <li>公園、広場</li> <li>家の中 など</li> </ul> <p>○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方があるか意見を引き出すようにする。</p> <p>○危ないところと注意することを発表させる。</p> <p>☆グループの話し合いを通して、予想される危険な事態と状況に応じた身の守り方がわかったか。</p> <p>☆雷による被害が自分の身の回りで起こることがわかったか。</p> <p>☆ふだんから雷の災害に備え、注意する姿勢が身に付いたか。</p>
ま と め	<p>3 雷による災害から身を守るために大切なことを確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>スライド4を提示</b></p> <p>◇雷のとき、身を守るために大切なことをまとめてみましょう。</p>	<p>○気象の変化を早めに発見し安全に行動できるようにすること、警報などの情報に注意することを指導する。</p> <p>☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。</p>

関連する 教科・領域等	
協力団体	